

福島県退職公務員連盟 会報

発行日 令和7年(2025年)10月20日
 発行所 福島県退職公務員連盟
 〒960-8043 福島市中町5-21(消防会館)
 TEL・FAX 024(522)0612
 URL <https://fukushima-taikouren.com>



令和7年度の夏季要望活動実施

—我々の要望事項を本県選出国會議員へ—

福島県退職公務員連盟は本県選出の国會議員に対して、各議員の地元事務所等を訪れ、夏季要望活動を実施しました。

福島支部では8月26日(火)に齋藤文和支部長と川崎康宏事務局長が金子恵美衆議院議員の事務所を訪問し、議員に直接要望事項を説明し、要望書を手渡しました。

郡山支部では8月26日(火)に佐藤健二支部長と吾妻伸介年金部長・小林伸行事務局長が根本拓衆議院議員、馬場雄基衆議院議員、星北斗参議院議員の事務所を訪問し、根本事務所では武田秘書に、馬場事務所では議員代理の馬場菜里夫人に、星事務所では千葉秘書に要望事項を説明し、要望書を手渡しました。

岩瀬支部では9月14日(日)に安藤勇司支部長と佐浦雅明事務局長が玄葉光一郎衆議院議員の事務所を訪問し、議員に直接要望事項

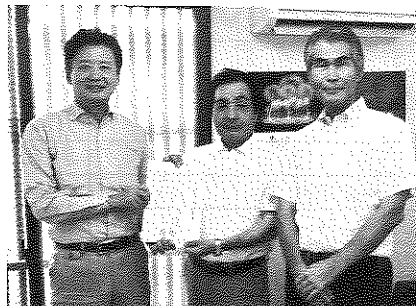
を説明し、要望書を手渡しました。

会津連絡協議会では協議会長成田正良北会津支部長をはじめ矢部宥一耶麻支部長、伊藤政憲西会津支部長、山口健大沼支部長、星人南会津支部長、北会津支部・西会津支部女性部長、北会津支部・大沼支部事務局長、協議会庶務・会計11名で8月26日(火)に小熊慎司衆議院議員の事務所を訪問し、廣岡秘書に要望事項を説明しました。なお、8月30日(土)には成田協議会長が小熊議員を再訪し、直接議員に要望書を手渡しました。

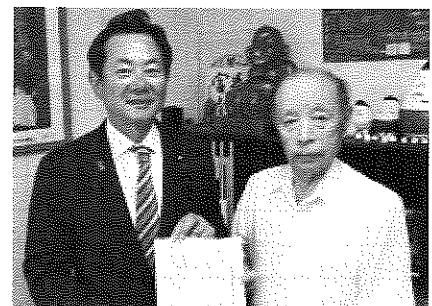
いわき支部では8月19日(火)に草野義教支部長と団野勝一事務局長が坂本竜太郎衆議院議員、齋藤裕喜衆議院議員、8月28日(木)に森まさこ参議院議員の事務所を訪問し、要望事項をそれぞれ秘書の方に説明し、要望書を手渡しました。



金子議員に要望



玄葉議員に要望



小熊議員に要望

令和7年度 要望事項

- 一 公務員の処遇・人材の確保に当たっては、人事院勧告を尊重するとともに働く環境を重くとらえ、多様で有為な人材が集う公務員制度の確立について十分配慮されたい。
 - 一 マクロ経済スライドの調整を早期に終了し、年金生活者の生活の安定を図ること。また調整期間終了までの間名目下限措置を維持するとともに、厚生年金の財源を基礎年金勘定に積み立て金按分により拠出することは慎重に対処すること。
 - 一 公的年金を含む社会保障給付費の財源は、安定した雇用と着実な経済成長による税収及び各種保険料収入の増加などにより確保されたい。
 - 一 物価高騰などで年金生活者の生活が厳しい中、高齢者に優しい公的年金・後期高齢者医療保険・介護保険制度などの維持改善に努め、年金生活者の負担が過重にならないよう十分に配慮されたい。
- 特に、後期高齢者の窓口負担の増については、年金生活者の現状に鑑み慎重に対処されたい。

- 一 基礎年金の拠出期間延長等を実施し基礎年金の給付水準の底上げを図るとともに、国庫負担相当分の財源を確保されたい。
- 一 現役世代の賃金と年金給付水準との比較に当たっては、現役世代と同様に社会保険料などを年金から控除するとともに、単身世帯や共働き世帯の増加など社会構造の変化にも配慮されたい。
- 一 進行する超高齢化社会・人口減少社会にあつては少子化対策を積極的に推進するとともに、健康で働く意欲のある高齢者及び女性、特に子育て世代が安心して働き易い労働環境の改善整備に特段の努力をされたい。

令和7年度 会 員 構 成 表

令和7年8月31日現在 福島県退職公務員連盟

支部名	令和7年度会員数			職 種 別 会 員 数						6年度 会員数	対前年度増減		新入会員			準会員 賛助会 員
	総数	男	女	教職	県職	市町村	警察	消防	その他		人数	%	計	男	女	
伊 達	190	131	59	167	19	3	1			192	-2	-1.0	5	2	3	324
福 島	759	584	175	402	304	1	52			813	-54	-6.6	18	17	1	912
安 達	213	112	101	205	7		1			242	-29	-12.0	2	2	0	519
郡 山	419	295	124	376	24	10	8		1	469	-50	-10.7	7	4	3	1,182
岩 瀬	138	95	43	135	1	2				149	-11	-7.4	5	3	2	518
田村地区	8	7	1	6		1			1	12	-4	-33.3	0	0	0	0
石 川	117	72	45	116	1					123	-6	-4.9	3	3	0	184
白 河	215	123	92	209	3	3				235	-20	-8.5	4	2	2	605
東 白 川	82	64	18	78	2		2			85	-3	-3.5	3	3	0	148
北 会 津	443	276	167	418	13		8		4	473	-30	-6.3	9	7	2	660
耶 麻	101	61	40	99	1		1			106	-5	-4.7	0	0	0	328
西 会 津	81	51	30	33	1	40	3	4		84	-3	-3.6	1	0	1	78
会津坂下	79	47	32	46	6	26			1	83	-4	-4.8	1	0	1	263
大 沼	104	55	49	103	1					116	-12	-10.3	0	0	0	94
南 会 津	113	71	42	102	5	3	2		1	121	-8	-6.6	3	2	1	146
い わ き	536	305	231	481	15	10	22		8	582	-46	-7.9	4	4	0	1,346
双 葉	143	93	50	142	1					146	-3	-2.1	1	1	0	0
相 馬	146	116	30	142	3	1				170	-24	-14.1	1	1	0	589
合 計	3,887	2,558	1,329	3,260	407	100	100	4	16	4,201	-314	-7.5	67	51	16	7,896
前年度数	4,201	2,778	1,423	3,523	425	114	115	5	19	4,525	-324	-7.2	60	47	13	7,508
(増減数)	-314	-220	-94	-263	-18	-14	-15	-1	-3				7	4	3	388

今年度8月末の会員数は3,887名で昨年度より314名の減となりました。

会員勧誘活動は定年制の延長実施で厳しい環境の中で、新規会員は昨年度の60名をわずかに増えた67名となりましたが、今年度の目標である125名以上には及びませんでした。

一方、退会会員197名・物故会員184名となったことにより減員となりました。



福島県退職公務員連盟の会員の皆さまには、特別条件で

お歳暮ギフトをご案内しております。是非、ご検討下さい。

丸大食品株式会社仙台営業所

福島県退職公務員連盟 会員の皆さまのための

団体傷害保険のご案内

団体総合生活補償保険(標準型)

加入年齢制限なし

健康の告知なし

5%団体割引

お申込みは下記のフリーダイヤルにご連絡ください

0120-216-226

(代理店・扱い者)
三井住友トラスト・ライフ・トラスト株式会社
本店営業部
東京都千代田区神田錦町3-11-1

(引受け保険会社)
三井住友海上火災保険株式会社
金融法人第二部 営業第一課
東京都千代田区神田駿河台3-11-1

私の時間

退公連の力



月日の経つのは早いもので「退公連」に入会してから23年が過ぎようとしている。

退職すれば入会するものだと思っていたので誘われるまま会員になったが、会員名簿を見ると大先輩の方々がずらりと名を連ねていたのなぜかほっとしたことを今でも覚えている。

女性部長として県の役員会に出席するようになり、多くの方と交流する中でさまざまな活動や考え方があることに気づき、退公連の活動に意義を見出すようになった。

「郡内小中学校へ花苗のプレゼント」「絵手紙を送ろう会」を立ち上げた。当時の会長さんの深い理解から始まり、福祉部との協賛はもちろん会員の方々の協力によりこの活動は、現在も継続されている。

80代に入り次の世代にバトンを渡した今、

東白川支部 女性部長 山口 彌代

新しい会の在り方が模索されて、一段と視野の広い多様化傾向の研修会等が企画実施されるようになった。こうして発展しながら継続されて行くことが大切であることをつくづく思うこの頃である。

私は、退職したらやりたいと思っていた傾聴ボランティア活動・昔話の語り・コーラスなどに70代まで取り組むことができた。人との付き合いの幅が広がり、様々な会での自分の立ち位置、言葉の重みなどを実感し、自分を振り返った。毎日何らかの会議や活動がある中、何とかできた原動力は何だったのか…。よくよく考えると、「人のつながり」に魅力を感じていたのかもしれない。みんなで協力する楽しさ、心地よさだったのかもしれない。

そのきっかけを与えてくれた「退公連」は、私にとって今も中心にあり、自分を支えているような心持ちになっている。

支部
これから

進化する「秋のつどい」



本支部の一大行事である「秋のつどい」は、永年にわたり会津若松ワシントンホテルを会場として盛大に開催されてきました。絵画や書等の会員の作品が会場一杯に展示

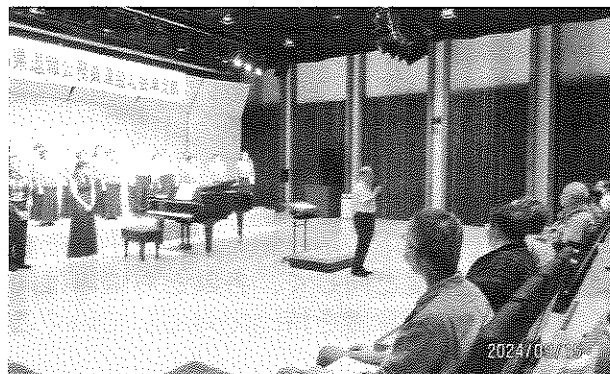
された中、「傘寿・功労者等の表彰式」「舞踊等の各種発表」「祝賀懇親会」が行われました。令和元年度においては66名の会員が出席し、親睦を深めながら心温まる時間を過ごしました。

これまでも実施後に反省を少しずつ改善を図ってきましたが、令和5年度より次のように大きく舵を切りました。会場を会津稽古堂に変更し、会員のみならず一般の方にもご覧いただけるようにしました。作品展においては、絵画・書・写真・手芸・いけ花等多くの作品を展示し、北会津支部各部活動の紹介コーナーも新たに設けました。2日間の開催で、のべ173名の方にお越しいただきました。

北会津支部 事務局次長 林 泰嗣

また、稽古堂多目的ホールでは合唱・舞踊・語り・謡曲・楽器演奏等のステージ発表が行われ、のべ95名の方にご覧いただきました。後日開催された懇親会と合わせると約300名もの方にお越しいただいたことになります。

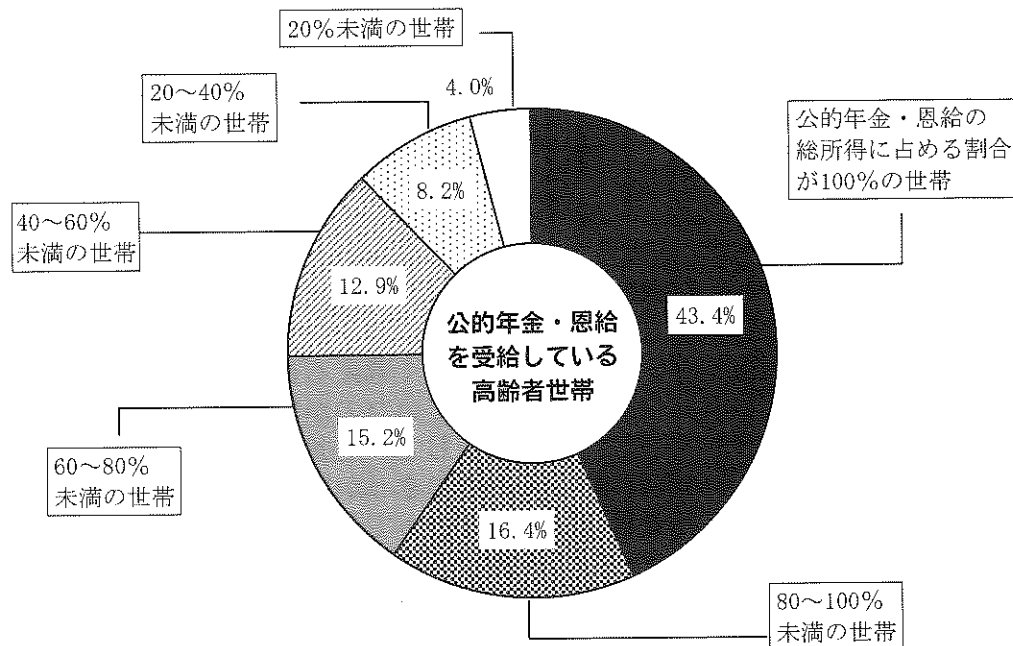
反省を踏まえ話し合いながら進化を図ってきましたが、課題0とはなりません。対策を講じながら前向きに歩み、認知度を高めるとともに、今まで以上に和気あいあいと楽しめる「秋のつどい」になればと思っています。



<年金情報コーナー>

公的年金・恩給を受給している高齢者世帯のなかで 「公的年金・恩給の総所得に占める割合が100%の世帯」は43.4%

厚生労働省の国民生活基礎調査2024によると、公的年金・恩給を受給している高齢者世帯における公的年金・恩給の総所得に占める割合別の世帯数の構成割合は次の図のとおりです。



ここでの高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又は、これに18歳未満の者が加わった世帯を言います。

公的年金・恩給の総所得に占める割合が100%の世帯と80～100%未満の世帯を合わせると高齢者世帯の6割弱となります。

公的年金等の受給額は世帯ごとそれぞれですが、公的年金の占める割合が大きいとみるかどうか、いかがでしょうか。

++++【事務局だより】++++

「日公連 東北・北海道地区協議会」開催

「日公連 東北・北海道地区協議会」が9月25日(木)に青森市で開催されました。

当退公連からは室井会長と大橋事務局長が出席しました。

青森県の奈良年永会長のあいさつ、日公連の小松博則専務理事の来賓あいさつの後協議に入り、①定年制延長による会員確保などの課題とその取り組みについて ②その他、現行の会運営・活動上の諸課題と対応策について 各県での対応・取り組み状況をそれぞれ発表し、昨年度と同じく、各県とも悩みは同じであり、危機意識を持って対応していくこととしました。

.....編集後記.....

国会議員への夏期要望活動が行われました。担当された支部の方々には大変お世話になりました。それとともに、要望事項が実現されることを願うばかりです。

今年度も半期が過ぎ、各支部ともに本格的に活動が実施されることと思います。ぜひ、退職公務員連盟の活動を、より多くの方々へお知らせいただきたいと思っております。

各支部活動のくわしい様子については本会退職公務員連盟ホームページに載せております。(QRコードは1ページの表題わきに載せております。)

次号217号は令和8年度2月20日発行の予定です。